

# トランスコスモス業務改善

## 重要説明

この文書は 会社ビジネス経営の提案文書ではない、経営意思決定の練習文書です。  
本資料を用いた運用は必ず自身の責任と判断によって行ってください。これらの情報の運用の結果について 著者はいかなる責任も負けません。

バージョン	更新要件	日付
0. 4	親会社業務連携の業務改善反省	2021/11/2
0. 3	大宇宙ジャパン改善	2021/10/28

## 目次

- 経営リスク分析&対策
- 大宇宙ジャパン会社目標
- 組織改革
- 人事管理
- 社内コミュニケーション
- 社内イベント
- 会社プレゼン

# 経営リスク分析 & 対策

## リスク:SNSの風評などの監視

現状:SNSの風評などの監視は ほぼありません

部署:トランスコスモス法務本部

対策:

- ✓ 担当さんは 毎日1回以上を確認します。
- ✓ 告発専用メールアドレスを会社ホームページに公開します。

## リスク:組織体制、人事管理、業績評価

現状:組織体制は 古いなので 社内コミュニケーションは難しい。

部署:トランスコスモス人事部、大宇宙人事部

対策:

- ✓ マトリックス体制、組織活性化
- ✓ 社員悩みなど投稿専用メールアドレスを会社ホームページに公開します。

## リスク:人材採用、育成、退職リスク

現状:人材採用のRPOは ITの専門家ではない、担当さんのIT関連知識はぜんぜんありません。

部署:人事部

対策:

- ✓ LinkedInなどのSNSを活用して 会社のブランドを十分アピールします。
- ✓ 社員紹介制度を強化して 社内イベントを展開します。
- ✓ 人材の社内育成を強化します。
- ✓ 応募専用メールアドレスを会社ホームページに公開します。

## リスク:ビジネスモデル・イノベーション

現状:業務イノベーションできない

部署:業務関連の事業部

対策:

- ✓ OKR評価を活用します。
- ✓ 優秀な人材を昇進します。



## リスク:会社ブランドアピール

現状:ソーシャルメディアに会社情報が発信する件数・質は 不足

部署:マーケティング、営業関連の部署

対策:

- ✓ ソーシャルメディア
- ✓ オンラインイベント

## リスク:品質管理・品質保証

現状:組織横断の品質保証・技術サポートの部署はない

部署:業務関連の事業部

対策:

✓ 品質保証の部署を新設

# 大宇宙ジャパン会社目標

## 事業目標(第1期)

年度	業務目標	アウトソーシング：ソリューションサービス：自社事業
2022	トランスコスモス株式会社業務を全面的サポートし、コア技術は強くなる コア技術戦略:ビッグデータプラットフォーム(GCP) ソリューション: 小売V1 事業発表: 転職エージェント(有料職業紹介認定)	7: 2: 1
2023	トランスコスモス株式会社グループに 技術力№1の子会社になる コア技術戦略:機械学習 ソリューション: 小売 (EC、集客、CRM) 事業発表: ニュース(個別最適化) 中小企業社内管理(人事)SaaS	6: 2: 2
2024	コア技術戦略: 文脈分析(音声認識も含め)、自動推薦、IoT ソリューション: 小売 (EC、集客、CRM、多実体店舗、商品管理&物流) 事業発表: 中小企業社内管理(人事、労務、情報)SaaS	5: 3: 2
2025	コア技術戦略: 意思決定支援システムV1、セキュリティー監視 ソリューション: 小売 (チャットロボット、、宅配ボックス) 事業発表: 中小企業社内管理(人事、労務、資産、情報)SaaS	4: 3: 3

## 小売SaaS機能

多実体店舗  
集客  
商品管理 & 物流  
宅配ボックス

## HRTech：中小企業社内管理SaaS

労務  
資産

参照資料：<https://sunshubin.github.io/>

## 事業目標(第2期)

年度	業務目標	アウトソーシング：ソリューションサービス：自社事業
2026	コア技術戦略：意思決定支援システムV2	3： 3： 4
2027		2： 3： 5
2028		2： 3： 5
2029		2： 2： 6
2030		2： 2： 6

# マーケティング戦略

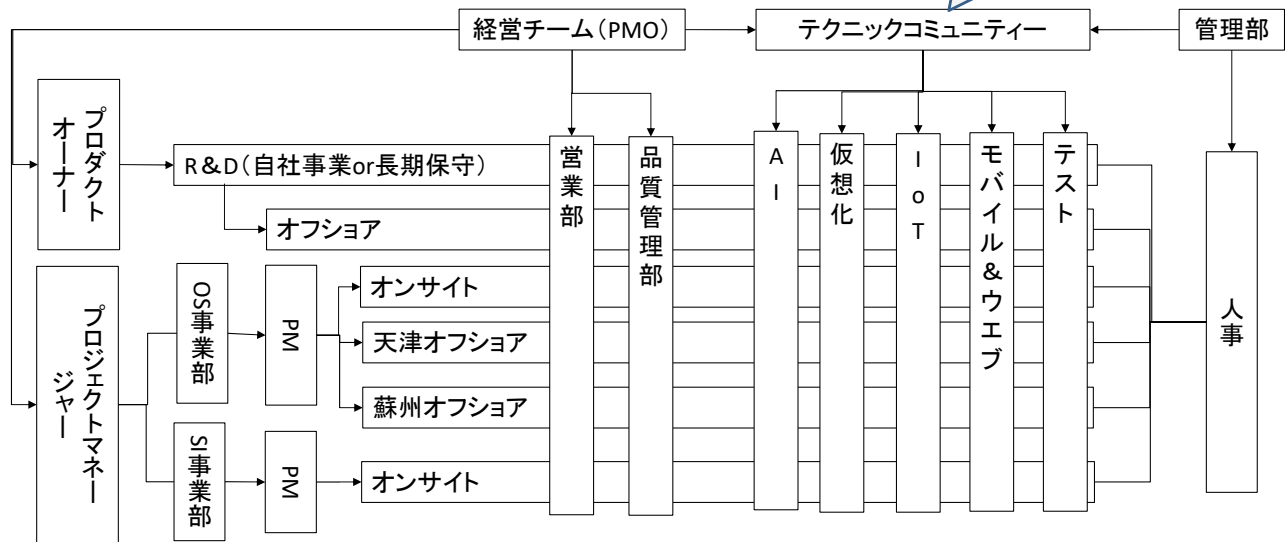
略

参照資料：<https://sunshubin.github.io/>

# 組織改革

## アジャイル組織構造(マトリックス組織)

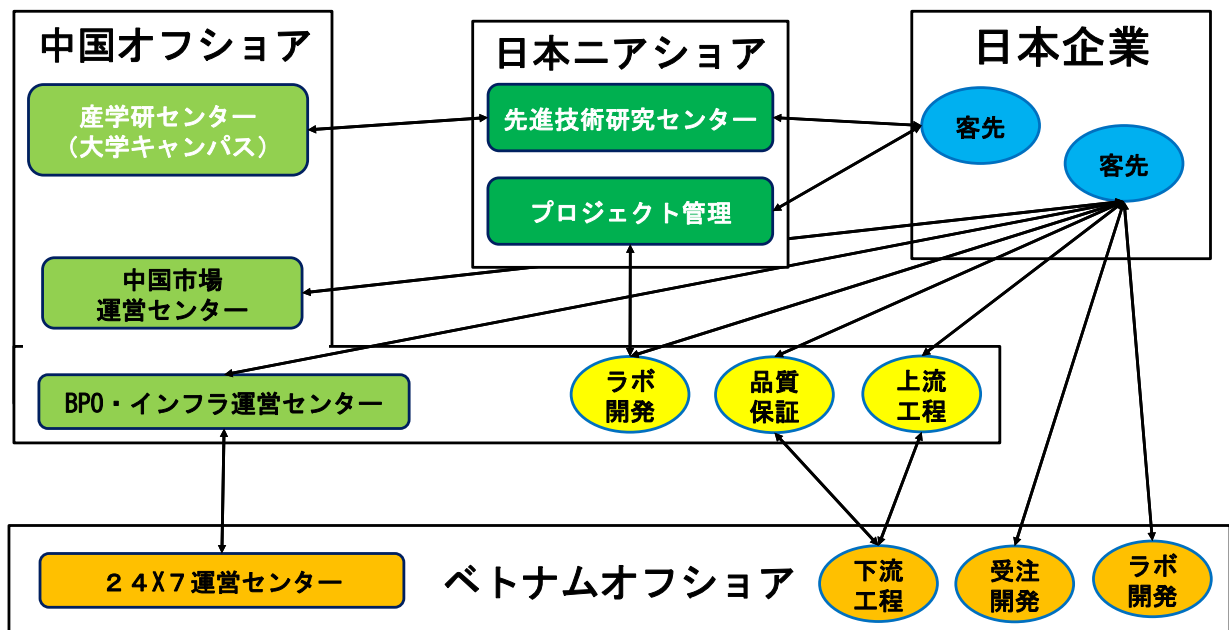
PMBOKのマトリックス型組織によって



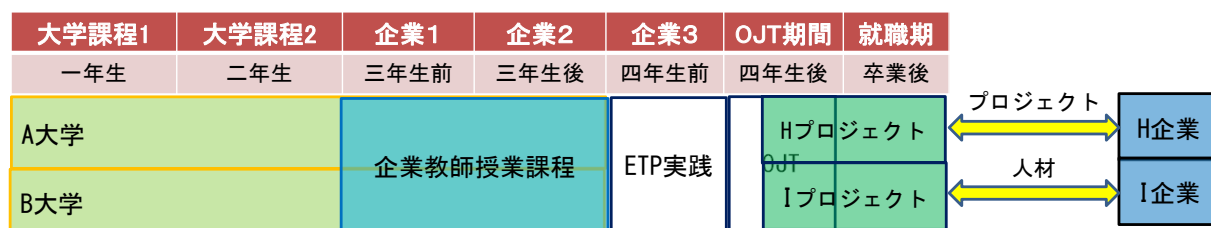
OS: Out Sourcing SI: W}wxiq Mxikvexsr



## ニアショア・オフショアのグローバルリソース活用



## 産学研協力(大学キャンパス内有給インターンシップ)



		NOSQL	IDSS		MOT 上流工程 下流工程 品質保証 面接指導 就職支援
プログラミング		WEB開発	データ分析		
Linux	IaaS	機械学習	PaaS構築	SaaS設計	
WEB基礎	RDB	CRM開発	モバイルアプリサービス		
心理学	SNS	行動経済学	PdM		
会計学	統計学	RPA開発	ソフトエンジニアリング		
法律	経済学	経営学	ITIL	PjM (PMP)	
数学		文書		マナー	
一般日本語：300時間		IT日本語：300時間			
英語					

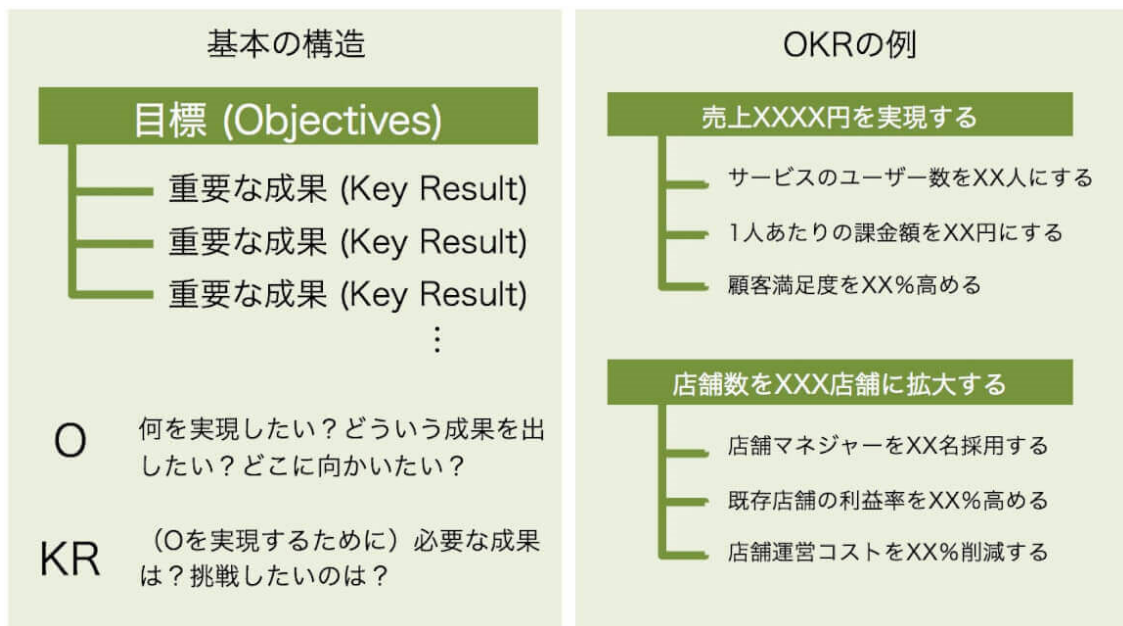
人工知能 エンジニア  
----->  
ウェブアプリ エンジニア  
----->  
プロダクトマネージャー  
----->  
プロジェクトマネジメント  
----->

共通ビジネス学科	IT専門学科
共通基礎学科	共通IT基礎学科

参照資料：<https://sunshubin.github.io/>

# 人事管理

## OKRの仕組みや考え方



### OKRの考え方

OKRは、これまでのピラミッド型の組織と似ていて、トップの決めた方向性に末端の人材までが合わせる。

個人個人の「重要なこと」が明確になっていて、そこに向かって目標設定がされる。

そして、その前提で、個人は裁量を持ち、ある程度の自己判断が許されるという考え方です。

この考え方の場合、トップから末端まで、目標が明確に設定されるため、束になった時の力が大きく発揮されるというメリットがあります。

また、変化の激しい時代に対応するため、実践から評価までの期間を3ヶ月など短い期間で区切っていくことも特徴の一つです。

## 給料制度

年収＝月基本給×12回＋業績賞与×2回

基本給：毎年第2、4四半期のOKR評価により職級と基本給を調整すること

業績賞与：毎年2回（6月と12月）、毎回最大2ヶ月基本給

OKR評価得点	割合	基本給	賞与	メモ
≤3	5%～10%	職級ダウン	なし	半年試用期間になり 次回5点不満、退職
3<OKR得点≤5	20%	職級不変	なし	自己改善
5<OKR得点≤7	50%	職級不変	0.5か月～1ヶ月	普通の業績貢献
7<OKR得点≤9	10%～20%	職級アップ可能	1ヶ月～1.5ヶ月	目標ほぼ達成
9<OKR得点≤10	5%～10%	職級アップ	2ヶ月	目標達成
OKR得点：満点10				

## 人材採用プラン(新卒)

クラス	学歴	専門／研究	条件	ニーズ	担当
新卒	学士	日本大学		なし	
新卒	学士	中国大学	インターンシップ		
新卒	修士、PhD	数学、経営管理学	Pythonでデータアナウンスできる	上限なし	人事
新卒	修士、PhD	教育技術学	女性だけ、イノベーション経験優先	1名	人事
新卒	修士	行動経済学、消費心理学	女性だけ、部活企画、プレゼン経験あり マーケティング調査経験優先	1名	人事
新卒	修士	社会学(ソーシャルネットワーク、新聞伝播)	女性だけ、部活企画、プレゼン経験あり 社会課題調査経験優先	1名	人事

## 人材採用プラン(中途)

クラス	学歴	専門／研究	条件	ニーズ	担当
中途	学士以上	コンピューターサイエンス関連優先	経験6年以上、在日3年以上 いずれか一つを満足： インフラ（GCP、IBM Cloud、Microsoft Azure） CRM（Salesforce） RPA（UiPath、Microsoft Power Automate Desktop） ビッグデータプラットフォーム（分散処理） 機械学習、データアナウンス 意思決定支援システム	上限なし	社員紹介／イベント
中途	学士以上	コンピューターサイエンス関連優先	プロジェクトニーズによってグローバル社内転職 リーダー経験 & N1 優先		

# 社内コミュニケーション



## 定例社員会議

月一回(通常第三週金曜日18時) 社員「吐槽」大会

ルール:社員は毎年4回参加します。毎4半期一回(オンライン可能)

ポイント:

- ・社員悩みを聞く(社内ルールを改善する)
- ・社内イノベーションのため 社員アイデアを聞く(社内事業を改善する)
- ・業界情報を共有する(社員は 毎4半期 1社を調査して 資料を整理して 発表する。他社の面接会に参加でも構いません。)
- ・自社事業により 新職位の創出、事業メンバー採用

職位は 社員家族を優先採用すること(BPOのような仕事もあり、リモートもOK、大学生アルバイトも可能)

# 社内イベント

## 概要

- 目標
  - 人材の選出(社内): 主なプロジェクトリーダー、テックリーダーなどコアメンバー
  - 人材の育成(社内・社外): 若い技術者にトレーニングプランと資料をサポートする
- セッション
  - 毎サイクルの成果発表会 & フォーラムは 原則として 8回(最大10週)だけだ。
- 学習チーム
  - チームメンバー人数は原則として8名だけだ。毎チームは一つ課題だ。
- 実施方法
  - テキスト、ケーススタディ
  - ワークショップ
- 実施期間
  - 毎サイクルの期間は 原則として3ヶ月以内だ。
  - 毎年 4サイクルを実施することだ。

## トレーニングトピック

	開催	時間H	受講者	責任者	方式／講師
IT業界関連法律・社員評価（OKR）	人事	24	全員	宋（想定）	対面座学／
Salesforce基本	コミュニティ	32+32	申込	孫	対面座学／孫 ケーススタディあり
RPA基本	コミュニティ	32+32	申込	孫	対面座学／孫 ケーススタディあり
アジャイル開発・業務自動化	コミュニティ	32+32	全員	孫	対面座学／孫 ケーススタディあり
人材ビジネス基本	コミュニティ	16	自由	孫	ビデオ ペーパーあり
小売業界ビジネス基本	コミュニティ	32	自由	孫	ビデオ ペーパーあり
プロダクトマネージャー	営業	約300		孫	孫、ケーススタディ、ペーパーあり

### IT業界関連法律・社員評価（OKR）

労働法、民法、個人情報保護法

社内管理ルール：  
業績評価、OKRとは

### Salesforce基本

### RPA

### アジャイル開発

### 人材ビジネスの基礎知識

人材ビジネス概要  
労働力確保サービス

人事労務サービス  
人材ビジネスの課題

## **小売業界の基本**

### 物流

- 物流の基礎知識
- 業界別の物流の仕組み
- 物流を支える最新技術
- 物流に関連する法律
- 物流の現状課題と将来の展望

## **プロダクトマネージャー**

- ソーシャルネットワークの基礎知識

参照資料：<https://sunshubin.github.io/>

## 実施方法(OKRの例)

イベント	内容	OKR
第1回	課題検討、目標設定、役割明確、チームワーク説明	対話
第2回	進捗確認、成果発表、課題検討、次期目標設定	フィードバック
第3回	進捗確認、成果発表、課題検討、次期目標設定	フィードバック
第4回	成果発表、課題検討、対策案決定	中期成果審査
第5回	進捗確認、成果発表、課題検討、次期目標設定	フィードバック
第6回	進捗確認、成果発表、課題検討、次期目標設定	フィードバック
第7回	進捗確認、成果発表、課題検討、次期目標設定	フィードバック
第8回	成果発表	成果確認

## チームワークツール

	Internal	Public
コミュニケーション	Zoom、Teams、WeCom、DingTalkなど可能	Clubhouse、Skype
チームワーク		Teams、Googleワークスペース
CI、CD	GitHub可能	GitHub
資料共有	GitHub、WeCom、DingTalkなど可能	GitHub

検討中

## 全体目標(予想)

サイクル	期限	目標
1	2021年10月	各課題の基本知識の習得、各テーマの自習資料を更新
2	2021年12月	各課題の基本サービスの開発可能、各テーマの外部設計書を作成
3	2022年3月	各課題の基本サービスの連携可能(API設計)、各テーマの外部設計書を作成
4	2022年6月	プロダクトデモ版作成 & 発表、システムアーキテクチャなど資料を作成



## 課題検討

順番	サービス・課題	内容	サイクル
1	マイクロサービス	アーキテクチャ、導入設計(アプリ分割、データ分割、Devops)	1
2	仮想マシン	VMWare、Docker、AWS、GCP	
3	データアナウンス	機械学習、強化学習、ディープラーニング	
4	ユーザー認証		
5	セキュリティ		
6	ウェブサービス	モバイルアプリケーション(iOS)	
	意思決定支援		

## サイクル1目標

- コミュニティ情報共有
- 勉強会プランと資料の説明(検証)
- 各コミュニティ体制、リーダー選出、課題設定

## サイクル1スケジュール(前半)

	《マイクロサービス》目標	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
第1回	課題: サービス分割 成果: 作業ガイド作成、仮アプリ設計					
第2回	課題: データ分割 成果: 作業ガイド作成、仮アプリ設計					
第3回	課題: Devops 成果: 作業ガイド作成、仮アプリ設計					
第4回	成果審査: マイクロサービス設計方針 仮アプリ機能要件定義					

## サイクル1スケジュール(後半)

	《マイクロサービス》目標	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週
第5回	ワークショップ: サービス分割 成果: アクティビティ図、ユースケース図、シーケンス図、サービスAPI設計					
第6回	ワークショップ: データ分割 成果: ファイル定義、データベース定義、APIデータ連携					
第7回	ワークショップ: Devops 成果: ビルド環境、開発/テスト環境、ステージング環境、本番環境					
第8回	成果発表・審査					

# 会社プレゼン

## 図書出版(出版社限定：技術評論社)

毎2年増補改訂、ソース・ケーススタディなど 無料ダウンロード  
サイト:\*\*\*\*.github.io

書名(暫定名)		
Salesforce		
RPA		
テスト自動化		

## トランスコスモスジャーナル

月～金 朝7時～8時30分

オンライン: Clubhouse

チャンネル: Youtube、腾讯视频

番組サイト:

テーマ	時間	
業界情報	20分	
会社情報	10分	
ビジネスコミュニケーション	20分	
トレーニングトピック	40分	